

関西SDGsプラットフォーム SDGsへの取り組みヒアリング

企業名	株式会社滋賀銀行
担当者	総合企画部CSR室 嶋崎 室長、山本 調査役、大西
会社概要	金融業
	滋賀県に本店を置く地方銀行。滋賀県内で預金・貸出金とも高シェア
所在地	滋賀県大津市
資本金	330億円
従業員数	約2,000名

備考(ヒアリング結果抽出)

・SDGsの策定を受け、「しがぎんSDGs宣言」を策定。従来から進めてきた「環境経営」を主軸としたCSR経営を進化させ、SDGsの考え方を統合。SDGsを企業行動につなげ、目的ではなく手段として活用し、事業に統合している。

・第7次中期経営計画(2019.4~2024.3)は、「視点のチェンジ」を基本コンセプトに、「銀行がどうなりたいか」という銀行基点から、「お客様・社会にどうなってほしいのか」という社会基点に転換。目指すべき地域社会の姿を掲げた「サステナビリティビジョン(長期ビジョン)」を出発点にして、現在の取り組みへとバックキャストしている。

・地方では、人口減少による経済縮小や産業衰退が懸念されるが、SDGsを活用することで、地域に新しいビジネスを生み出すとともに、既存産業においても将来を見通した対応を促すことができ、地域経済の活性化につなげることが出来ると考えている。

・SDGsという新しい価値観で、地域の課題を解決するビジネスが生まれ、新しい資金需要につながる好循環が実現する。そうしたアプローチの中で地域が活性化することで、滋賀銀行もともに成長する。

SDGsへの取り組み

1	貧困	JICAとの連携(海外展開支援)
2	飢餓	GAP認証取得支援
3	保健	しがぎん福祉基金、ユニセフ外国コイン募金
4	教育	SDGs私募債「つながり」
5	ジェンダー	プラチナくるみん
6	水・衛生	PLB(琵琶湖原則支援)資金
7	エネルギー	カーボンニュートラル店舗
8	経済と雇用	ニュービジネスサポート資金(SDGsプラン)
9	インフラ革新	SDGsビジネス・マッチングフェア
10	不平等	住宅ローンのLGBT対応
11	持続可能都市	サステナビリティ・ファイナンス
12	生産消費	グリーン購入
13	気候変動	BCPサポートローン
14	海洋資源	エコプラス定期預金(ニゴロブナ・ワタカ放流)
15	陸上資源	環境ボランティア活動
16	平和	オレンジリボン'sプロジェクト
17	パートナー	滋賀SDGs×イノベーションハブ



取り組みにつきコメント

- ・SDGs私募債は、企業の「地元之恩返しをしたい」といった気持ちを、商品利用を通じた寄付(贈呈式に出席)という形で「見える化」する仕組みなどが評価された。
- ・住宅ローンのLGBT対応は若手の女性行員からの発案がきっかけ。SDGsを起点にして課題解決に取り組むことが企業価値になるとわかればアイデアが出てくる。
- ・一つの課題解決に役立つ事業が、見方を変えるだけで全く違う形で社会課題に貢献した事例がある。SDGsを意識しなくても、身近な課題解決がSDGsにつながる。